

令和7年度高齢者相談センター運営委託事業予算（案）の概要

- 1 予算案の総額（6圏域合計） 175,155千円（対前年度 120千円増）

- 2 予算案（6圏域合計）の概要・増減の主な要因など
 - (1) センターの運営 153,832千円（対前年度 299千円増）
 - ア 包括的支援事業（総合相談支援、権利擁護支援、包括的・継続的ケアマネジメント支援）、指定介護予防支援等の事業に従事する専門職の配置に係る費用及びセンターの運営に係る事務費用
 - イ 物価・燃料費の高騰の影響を考慮し、光熱水費、燃料費等を増額

 - (2) 認知症地域支援 752千円（対前年度 104千円増）
 - ア 認知症ケアに関する相談支援や認知症の早期発見・早期対応を支援する認知症初期集中支援チーム員活動に係る費用及び認知症地域支援推進員活動に係る費用
 - イ チームオレンジ設置圏域における認知症地域支援推進員による認知症の普及啓発等に関する活動に係る経費を増額

 - (3) 地域ケア会議運営 4,540千円（対前年度 120千円減）
 - ア 地域住民やケアマネジャー等から報告を受けた支援困難事案等を解決に向けて検討し、支援体制の構築等を行う地域ケア会議の開催に係る費用
 - イ センター主催の地域ケア個別会議の開催回数の減少見込み
 - ※ 令和7年度計画回数 195回（令和6年度201回）

 - (4) ふれあいサロン 5,856千円（対前年度 48千円減）
 - ア 住民主体の通いの場である「ふれあいサロン」の発足及び活動継続のための支援活動
 - イ 支援対象サロン数の減少見込み
 - ※ 令和7年度支援対象サロン数 122箇所（令和6年度123箇所）
 - ※ 予算編成時点での見込箇所数

(5) 要支援高齢者把握 6,335千円 (対前年度 115千円減)

ア ひとり暮らし高齢者等を訪問し、総合相談を実施。ニーズに応じた高齢者施策を案内し、要介護状態等になることの予防または状態悪化の防止を図る。

イ 戸別訪問の対象者等の見直しに伴い訪問件数が縮小

※ 令和7年度計画回数 1,890件 (令和6年度2,190件)

(6) 地域ブロンズ会議運営支援 3,600千円 (前年度同額)

地域で高齢者を支え合う仕組みについて検討し、実践する「地域ブロンズ会議」の発足及び活動継続のための支援に係る費用

(7) 介護予防啓発活動費 240千円 (前年度同額)

地域住民や団体等を対象とした介護予防に関する普及啓発